

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 147

2020年2月21日発行 通巻No.157号

創刊2007年2月26日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL : 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

TEL&FAX : 03-6303-8265

MAIL : npokouken@gmail.com HP : <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

◆業務指導委員会◆

1月20日(月)、外部の専門家の方たち5名(弁護士・司法書士・社会福祉士他)を招き、私たちの後見活動を検証するための業務指導委員会が、品川区社会福祉協議会会議室にて行われました。本会からは理事・監事10名、活動内容を報告する後見担当者4名の計14名が出席しました。本会が現在受任している23件のうち、特に課題の多い5案件について後見担当者が活動内容、抱えている課題等を報告し、その後指導委員の方たちとの質疑応答がなされました。どのケースも様々な課題を抱え担当者の工夫の様子が伺われました。

最後にある委員の方(弁護士)から総括的な意見として次の3点が述べられました。

- ①施設中での本人に対する処遇が困難な場合、後見人として次の施設を見つけることになるが、大変な労力が必要だ。本人に合った施設を探すには情報を得ておくことが大切。けれど情報量が少ないのも事実だ。
- ②本人の財産が無くなった時の対応を早めに考えておく。生活保護を申請するか否か。
- ③死後事務についても相続に関わることは大変なこと。後見人で出来る範囲はどこまでかの認識が大切。範囲を超えることには手を出さない。



◆寄付金◆

次の会員から寄付を頂きました。有難うございました。

宗村安子 5,000円

(敬称 略)

◆月曜カフェ◆

事務局主催による第23回・月曜カフェが、1月27日（月）午後6時から午後8時まで荏原第5区民集会所で20名の会員が参加して開催されました。

テーマは「市民後見人による後見活動と生活支援活動は、どう連携するのが望ましいか」。スピーカーは本会前理事で、公益財団法人さわやか福祉財団でも長年活動されている大岡朋子さん。同財団が昨年9月に大阪で開催した「ふれあい・生きがいサミット」の分科会で議論された内容を紹介し、その後、参加会員と活発な議論がなされました。質疑応答の最後の方で一人の会員が「都会の中に田舎を作ろう、という気持ちで活動している」と発言していました。



◆広報活動◆

1月28日（火）、広報活動の一環として西品川三ツ木会町会会館で、本会会員宗村安子さんが同町会の方たちに後見活動の体験談を話し、本会の活動を紹介しました（10時半～12時）。この集まりのきっかけは「会報142号」の宗村さんの手記を読んだ三ツ木会の会長さんが「是非、この手記を書いた人からうちの会員たちに話しをしてもらいたい」との要望からです。広報部会員4名も参加し、町会の方たちと車座になって後見制度をはじめ様々なことを話し込み、充実した1時間半でした。

◆1月度理事会報告◆

- 1 開催日時 2020年1月20日（月）17時00分～18時50分
- 2 開催場所 品川区本会事務所
- 3 出席理事 朝倉鈴子、内山恵子、金城清、古賀忠壹、小松統、澤谷義則、杉谷徹夫、高橋宣子、高原三平各理事
- 4 オブザーバー 青木誠監事
- 5 議事

議事に先立ち、古賀理事長より『年頭にあたり』の表明があった。

<審議事項>

- ① 新規パソコン・コピー機器購入について決議した。価格約29万円（保証料込）。

<協議事項>

- ① 2020年度総会について日程、事業計画・予算の書式及び役員人事等について協議した。（高原）

<報告・連絡事項>

- ① 2019年度業務指導委員会が、1月20日開催された旨の報告があった。(高原)
- ② 2019年度市民後見人養成講座について、現在の申込人数15名の他、時間割等の報告があった。
(杉谷)
- ③ 「こうけんカフェ」について以下の報告があった。(杉谷)
 - ・品川区への認知症カフェ登録完了
 - ・第1回目の開催を、1月17日実施。参加者30名(施設利用者16名、地域4名、専門スタッフ4名、本会6名)
- ④ HPへの規程類掲載の進捗状況の報告があった。尚、会員ページへのパスワードの通知があった。(金城、高原)
- ⑤ 本会新規チラシの作成について、コンセプト、構成、体裁などの報告があった。(金城)
- ⑥ 39号(間宮巖氏)逝去(1月9日)について報告があった。(小松)
- ⑦ 情報交換会について以下の報告があった。(小松)
 - ・実施日 1月18日(土)13時半～16時45分
 - ・参加者17名
 - ・「売却不動産手続き」、「施設での問題行動による退去勧告対応」等についての事例報告及び質疑討論
- ⑧ 傷害保険更新(2020年2月1日より1年間)について報告があった。(高原)
- ⑨ 取手市に於ける市民後見人の会について報告があった。(古賀)
- ⑩ しながわ地域貢献活動展 2月22日(土)開催について連絡があった。(金城)
- ⑪ 社協より、社協主催の市民後見人養成実務研修講師派遣要請があり、古賀、朝倉両理事に依頼した旨報告があった。(高原)
- ⑫ NPO法人等後見団体(なのはな、ライサが東京、早稲田、千葉市社協、品川社協等)の集い(1月24日)への参加の連絡があった。(高原)
- ⑬ NPO法人市民後見支援協会の事業「笑って学べる成年後見落語」の開催について連絡があった。
(高原)
- ⑭ 中長期日程について、別添にて連絡があった。(高原)
- ⑮ 寄付金について以下の報告があった。
 - ・寄付者 古賀忠壹、寄付額 9,000円 (記 高原三平)

今月6日の毎日新聞朝刊に『慈悲なき社会』の行く末は(客員編集委員・布施広)というタイトルのエッセイが載っていました。一部をそのまま引用します。「困窮者への施し(喜捨)を信者の義務とするイスラム世界に対し、日本では困っている人に民生委員などへの相談を勧める程度で、人助けは国任せ役所任せの空気が強い。(略)思いやりの精神が薄れた社会の先行きは決して明るくはないだろう。

確かにその面はあるかも知れませんが、市民による「子ども食堂」「オレンジ(認知症)カフェ」の広がりもまた事実です。本会でも今年1月から研修部会主催による認知症カフェ「こうけんカフェ」がスタートしました。会員の皆さんの協力を期待します。
(編集 広報部会)